

せいび

2月14日発行

第11号



2/7 バイキング給食



読書の意味とは



今年も丸善食品工業様からたくさんの図書を寄贈していただきました。もちろん町の予算でも購入していますので、成美小の蔵書はたいへん充実しています。その数は誇れるほどです。

本はいろいろなことを教えてくれます。物語であれば主人公を介して、あるストーリーを疑似体験することができます。実際には経験・体験していなくても、あたかもしているかのような思いにさせてくれます。映画などでも同様ですが、映画では監督の描いた映像になってしまいます。本であれば読書する人によって映像は異なります。つまり、自分なりの世界が広がってくるわけです。

人生はある意味、出会いと選択です。多くの人やもの・ことに出会い、選択を繰り返してきた結果が現在です。出会いは働きかけて得ることもできますが、多くは相手の方からやってきます。ですが、選択のほとんどは自分で行います。このときの判断の基準は経験によってもたらされています。

読書はこの判断基準をつくる経験のうちの一つだと思うのです。もちろんそれは、読書に限らず、本当の経験や親や友人などの出会った人から聞いた話であることもあるでしょう。

このように考えると、学校での先生の話というのは子どもたちのこれからの人生にとって大きな影響を与えるものだ改めて認識しました。

学校では、子どもたちに読書をはじめたくさんの経験をさせていきます。そして、将来選択を迫られたときに、よりよい判断ができるようになってほしいと思っています。



楽しかったスキースケート教室

1月20日にスケート教室（富士急ハイランド）1月27日にスキー教室（カムイ御坂）を実施しました。天候にも恵まれたたくさん滑ることができました。あっという間に上達する子どもたちの対応力には驚かされました。小山町ならではの行事です。また来年がとても楽しみになりました。



※2月3日、6日、8日、13日の学習参観・学年懇談、ありがとうございました。子どもたちの成長をご覧いただけただでしょうか。また、学年委員決めもスムーズに決まって良かったです。

※インフルエンザがまだ流行っています。うがい手洗いに加え、マスクの着用や人混みを避けるなど予防に心掛けてください。

成美小 Best Photo Selection



1/15 小山町周回駅伝



1/26 給食感謝の会



2/1 購買買い物大作戦



2/3 福は内 鬼は外豆まき